

進路指導のたより

令和5年度 第3号（9月）

栃木県立富屋特別支援学校 進路指導部

◇産業現場等における実習および校内実習について

10月16日（月）～27日（金）の10日間で、中学部の校内実習、高等部の産業現場等における実習及び校内実習が実施されます。高等部2年生は初めての校外での実習となります。生徒それぞれが希望した実習先（企業、福祉事業所）で実施できるように調整しています。高等部3年生の就労継続支援B型を利用希望する生徒は、この期間に就労移行支援事業所で「就労に関するアセスメント」を実施する生徒もいます。3年生は、進路決定に向けて重要な学習の機会となりますので、体調を整え、事前学習を進めていくことができればと思いますので、御家庭でも協力をお願いします。

◇福祉事業所説明会・進路相談会について

8月1日に福祉事業所説明会・進路相談会が本校視聴覚室を会場として行われました。

福祉事業所説明会では、午前には社会福祉法人同愛会コミュニティサポートセンターひかり、午後にはフレールカンパニーの担当者の方から事業所の概要説明や利用者皆さんの様子について、お話いただきました。

進路相談会では、宇都宮市障がい福祉課、相談支援専門員、宇都宮公共職業安定所、宇都宮圏域障害者就業・生活支援センターの職員の方々に、主に高等部2年生の保護者等の進路に関する相談に助言していただきました。一人25分の時間で卒業後の生活や成人するにあたって必要となる手続きなど、就労や将来に向けて感じている疑問や心配事などについて、助言をいただくことができました。



◇中学部の進路指導について

中学部では、日常生活における基本的な生活習慣を確立すること、職業生活の基盤となる知識や技術、マナーの習得を図ること、自尊感情を高めていくことを家庭や地域と連携しながら指導しています。

その一つの取り組みとして、作業学習では、働く力の基礎を身に付けるため、場面に応じた挨拶や報

告、一定時間作業に取り組む力を、日常生活の指導では、身だしなみや時間、決まりを守ること、日直や係活動の役割の大切さ、自分の気持ちや考えを自分なりの方法で伝えることなどを日々の学習の中で行っています。また、卒業後の進路の一つである高等部の見学を行ったり、卒業した先輩方の仕事の様子を見たりしながら自分に合った進路を考えることも授業の中に取り入れています。

中学部3年間で将来の自立的な生活の基盤を育て、卒業後の進路に繋げていけるよう取り組んでいます。

◇新規事業所について

■And ACK 宇都宮市関堀町1001-1 電話080-1175-8299 (8月開所)

就労継続支援B型、生活介護 ●リサイクル業(商品の撮影・発送など) ●ハンドメイド(裁縫・小物雑貨などの制作) ●梱包作業(インターネットで販売する商品の袋詰めや梱包作業) ●イラスト制作

●営業日 月曜日~金曜日 ※土日祝お休み(月によっては土曜、祝日が勤務日になることがあります)
送迎あり自宅まで送り迎えいたします

●昼食弁当提供 別途料金がかかります(1食300円程度)

●営業時間 AM9:30~PM16:00

◇職員対象施設職場見学について

夏季休業中に研修の一環として小中学部の教職員を中心に施設職場見学を実施しました。施設内を回りながら施設職員の方に経営方針や特色、利用者の方の様子などについて説明していただきました。利用者の中には本校の卒業生の姿もあり、生き生きと働いたり穏やかに過ごしたりと卒業後の生活を垣間見ることができました。



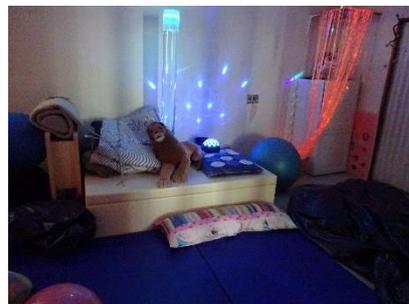
【泉が丘ふれあいプラザ】

日中一時支援の様子



【幸空】

お弁当班で洗い物を担当する
卒業生の様子



【サポートセンターとみや】

スノーブレンの部屋



【konomi】

餃子処 konomi



【JOY みゆき】

グループホームかいどう